推進協議会関係機関・団体

「健康いわて21プラン（第2次）」の推進に関する健康づくり関連事業

資料3-2

平成28年度事業実績

（順不同）

関係機関・団体名	No.	分野 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果 事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など	連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
岩手労働局	1							⑦									監督指導、集団指導等	22	県内の労働基準監督署による事業場に対する臨検監督、集団指導等	通年	県内の事業場					継続
岩手労働局	2									⑨							・監督指導、集団指導等 ・受動喫煙防止対策助成金	29	・県内の労働基準監督署による事業場に対する臨検監督、集団指導等 ・喫煙室を設置する費用の一部を助成	通年	県内の事業場					継続
日本労働組合総連合会岩手県連合会（連合岩手）	3							⑦				⑪			⑭	⑮	政策・制度要求と提言	22,34,35,36,42,44,46,47,49,52	「政策・制度要求と提言」を集約し県・市町村に政策提起を実施	平成2年	県・市町村				主催	継続
日本労働組合総連合会岩手県連合会（連合岩手）	4							⑦				⑪			⑭		「過重労働解消キャンペーン」	22,34,35,36	「自組織から長時間労働をさせない」宣言採択運動や労働時間関連のワークルール等の啓発活動など	28年	組織内			労働局	主催	継続
岩手県学校保健会養護教諭部会	5					⑤	⑥				⑩	⑪					岩手県養護教諭研究大会		複雑化・深刻化する社会情勢の中で、現代の子どもたちが抱える健康問題を見据え、その健やかな成長を支える	昭和52年度から	養護教諭	1回　530名				継続（その年により分野は異なる
岩手県学校保健会養護教諭部会	6															⑮	岩手県学校保健会養護教諭部会東日本大震災支援対策委員会研修会		養護教諭の支援及び子どもに寄り添う　～保健室で行う心のケア～	平成23年から	養護教諭	1回　34名				継続
岩手県保健推進委員等代表者協議会	7														⑭		岩手県保健推進委員等代表者協議会総会及び研修会	43	・総会 ・研修会（講演・交流活動）	毎年度実施	保健推進委員代表者	総会及び研修会1回 参加者477名	－	国保連合会	主催 （国保連）	継続
岩手県保健推進委員等代表者協議会	8														⑭		市町村保健推進委員等研修会	3,4,6,14,19,43	地域の健康づくりサポーター養成研修	毎年度実施	市町村保健推進委員	研修会1回 参加者136名	アンケートによると、脳卒中対策に関する知見が得られたようだった。	国保連合会	主催 （国保連）	継続
岩手県保健推進委員等代表者協議会	9														⑭		関係機関との連携	42,43	各種会議等への出席 ・岩手県国保連保健事業推進会議 ・岩手県脳卒中予防県民会議総会・講演会 ・県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議 ・「岩手県国民健康保険フォーラム」の後援 ・「第18回岩手県歯科保健大会」の後援	随時		会議等参加3回 2事業を後援	－	国保連合会 岩手県		継続
（公社）岩手県栄養士会	10		②														いわて栄養月間	3～29、39～41	一般県民に対する生活習慣病予防、重症化予防のための栄養・食生活支援指導の普及啓発、個別栄養相談指導も含む	5～2月	一般県民	県内各地18回、指導対象2,235人	平成11年から当会の自主事業として開催している。	各市町村、地元関係団体	主催	有
（公社）岩手県栄養士会	11					⑤							⑫				食育出前講座	37、38	「就学期の食事は老年期へ通ず」をテーマとして、学童・生徒及び保護者に対し、減塩を中心とした適正な食習慣を定着させるための教室を開催	10～12月	学童、生徒及び保護者、学校関係者	県内各地12校、指導対象732人	一日の食事のめやす量、減塩習慣定着へのサポートができた。	小学校、中学校、高等学校	主催	別事業により実施

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
（公社）岩手県栄養士会	12		②			⑤							⑫				栄養ケアステーション	3～29、37～41	各種団体等が主催する保健、福祉、介護、食育等の栄養・食生活等の専門的指導	4～3月	県内の乳幼児から高齢者まで	県内各地107回、指導対象2,507人	管理栄養士の専門性を生かした指導支援	市町村、老人福祉センター、子育てサポートセンター等	共催	有
（公社）岩手県栄養士会	13															⑮	被災者（移住者）のための食と心と体の健康教室	46、47	沿岸から盛岡市に移住された方々の健康相談、栄養指導	5～2月	被災者	5回、87人	被災者の心と身体のケア、有症状者等への栄養指導	もりおか復興支援センター	主催	検討中
（公財）岩手県予防医学協会	14									⑨							禁煙サポート事業	26	岩手県民を対象に喫煙指数200以上の希望者に対し禁煙指導を実施。（1週間分のニコチンパッチを提供）	H29.2～3	岩手県民 100名	100名	終了後1ヶ月、3ヶ月後に禁煙状況確認を行う予定。タバコの害を再確認し、禁煙の機会を提供できた。	岩手県	主催	継続 （1、3ヶ月後フォロー）
（公財）岩手県予防医学協会	15															⑮	被災地健康相談事業	46	被災地仮設住宅の談話室等を定期的に訪問し、健康相談を実施	H28.6～H29.3	岩手県内の被災地住民	実施回数：704回 対象者数：3072名	復興により、住民も減少し環境や状況が変化している。仮設に住む住民の心身の健康づくりや疾病予防の啓蒙活動となった。	岩手県 陸前高田市 大船渡市 大槌町 野田村	主催	継続
（公財）岩手県予防医学協会																⑮	平成28年度被災者健康づくりサポート事業	46	仮設住宅の談話室等で健康づくりのための運動や食事などを実践していただくことを目的に実施	H28.5～12	大船渡市の被災地住民	仮設住宅　40回　186名	仮設住宅の住民に対して日常生活での健康づくりの情報提供を行い、実践につなげた。	大船渡市	主催	継続
（公財）岩手県予防医学協会																⑮	平成28年度被災者支援総合交付金・被災者生活支援事業	46	公営住宅の集会場で、健康づくりのための運動や食事などを実践していただくことを目的に実施	H28.6～H29.1	大船渡市の被災地住民	公営住宅　30回　161名	公営住宅の住民に対して日常生活での健康づくりの情報提供を行い、実践につなげた。	大船渡市	主催	継続
（公財）岩手県予防医学協会												⑪					事業場における若年層を中心としたメンタルヘルスセミナー事業	35	心身の健康問題について理解を深め対応していくための情報提供の場としてセミナー開催を企画	H28.7.29	養護教諭、教員、保健師等	実施回数　1回 参加者　70名	支援に活かせる内容、多くの人に伝えたいと思ったなど好評のアンケート結果であり、目的を果たすことができた。	岩手県	主催	継続
（公財）岩手県予防医学協会						⑤	⑥					⑪					ヨロコブ講座	14 19 35	運動、栄養、心の健康づくり等専門のスタッフが月1回希望者に対して当施設で実技を伴った講座を実施。	H28.4～H29.3	岩手県民	実施回数　12回 参加者　88名	アンケート結果から理解できたという回答が多かった。また、すぐに生活に取り入れられる、また参加したいとの声があがっている。	岩手県	主催	継続
（公財）岩手県予防医学協会		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							健康フェスタ2016	1～15 18～19 21、23、26	イベントを通じ、来場者に健康について考えていただきっかけをつくる。	H28.10.15	設定なし	実施回数　1回 参加者　約1500名	多くの方に来場いただき、アンケート結果も好評だった。	なし	主催	継続

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
（公財）岩手県予防医学協会	16	①						⑦				⑪				⑮	第5回産業保健支援セミナー	2 22 36	講演や当協会の事業実施状況並びに事業紹介など職場の健康管理に役立てていただくためのセミナー	H29.2.20	健診担当者	実施回数　1回 参加者　72名	アンケート結果では健康管理体制やストレスチェック関連について参考になったとの複数回答もあり次回も参加したいとの声をいただいた。	岩手労働局	主催	継続
（一社）岩手県薬剤師会	17	①	②	③		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑪		⑬		⑮	県民健康講座「みんなの薬の学校」	1,2,3,4,5,6,8,13,14,15,19,21,23,25,35,39,46	薬剤師による講話、ディスカッション、パネル展示、視聴覚機材などの使用により啓発を図る。	S59年度～	一般県民	＊昭和59年度～（委託事業） ＊平成28年度の実績 講座数：119回 受講者数：4,014名	薬の正しい知識を啓発することにより，県民の健康の増進を関する意識向上に貢献することが出来る。 また、薬剤師の「顔の見える」活動にもつながっている。	岩手県内地域薬剤師会	県委託事業	継続
（一社）岩手県薬剤師会	18								⑧	⑨		⑪	⑫				薬物乱用防止啓発事業	23,24,24,26,27,28,29,35,37,	①学校等で実施される「薬物乱用防止教室」「正しい薬の使い方教室」等に協力する（資料の提供、啓発パンフレットの提供、視聴覚教材の貸し出しを含む）。 ②　薬物乱用防止教育に関する研修会の開催に協力する。 ③　地域の健康イベント等で薬物乱用防止を啓発する。 ④　青少年薬物乱用防止啓発連携（DARP）プログラムを普及する。 ⑤　学校保健課題解決支援事業(薬物乱用防止教室プログラム開発チーム)に協力する。	S59年度～	青少年 （小・中・高校生・専修学校生 等）、PTA、 地域住民	小学校：180校（7,144名受講） 中学校：98校（8,034名受講） 高等学校：53校（9,039名受講） PTA、他：26回（1,913名受講） 資料提供：345回 資料貸出：85回 啓発リーフレット、チラシ作製	県民に対し，薬物乱用の害に関する正しい知識と正しい薬の使い方を啓発することにより，薬物乱用防止と健康増進を図る。	・学校等教育機関 ・県及び市町村教育委員会	主催	継続
（一社）岩手県薬剤師会	19											⑪					自殺対策を担う人材（ゲートキーパー）養成事業	34	①地域の健康支援(自殺予防を含む)を担うことのできる人材を育成し、「ゲートキーパー」として認定する。 ②自殺対策を担う人材(ゲートキーパー)の養成研修会＆継続研修会を実施する。	H24年度～	薬剤師及び薬局勤務者	①「岩手県薬剤師会認定ゲートキーパー」の認定行った（認定者総数：264名）。 ②研修会実績：10回	認定ゲートキーパーは、資質向上のため継続的に研修に参加すると共に、地域の健康支援活動を行う。 ゲートキーパー薬剤師の勤務する薬局を公表し、県民が利用しやすくする。	・岩手県障がい保健福祉課 ・岩手県こころのケアセンター	主催	継続
（一社）岩手県薬剤師会	20											⑪					「あなたもゲートキーパー」啓発事業	35	自殺対策を担う人材(ゲートキーパー)養成研修会の受講者による、薬局や地域のイベントで啓発用資材を用いた啓発を行う。 啓発資材を作成する。	H24年度～	一般県民	①平成26年度「自殺予防週間」及び「自殺対策強化月間」広報ポスターの配布・掲示 ②リーフレット「気づいてください。大切な人の健康SOS」による啓発 ③「気づいてください　SOS」クリアファイル・健康宣言」ポストカード作成・配布	地域の健康支援(自殺予防を含む)の一環として、「気づいてください。大切な人の健康SOS」を推進することにより、健康づくりに参加する人を増やす。	岩手県内地域薬剤師会	主催	継続
（一社）岩手県薬剤師会	21	①	②							⑨							禁煙サポート研修会	1,2,3,26	がんの予防に向けて、本会会員を対象として、地域薬剤師会単位で、「薬局で行う禁煙サポート」について研修会を実施した。	H26年度～	薬剤師	県内地域薬剤師会で、計2回実施	禁煙支援に対する意識の高揚と禁煙指導のスキルアップ	岩手県内地域薬剤師会	主催	継続

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
（一社）岩手県薬剤師会	22														⑭		アンチ･ドーピング事業	42,43,44,45	選手がドーピングの知識不足のため禁止物質を含む医薬品等を服用して違反になる、いわゆる「うっかりドーピング」を防ぐための教育･啓発を行った。	①H24年度～ ②H17年度～ ③H28年	①薬剤師 ②選手･指導者等 ③国民	①県内地域薬剤師会単位で、相談対応に関する研修会を開催（4回）。 ②選手･指導者を対象とした教育･啓発を行った(18回)。 ③いわて国体におけるアンチ･ドーピング活動（ドーピングホットライン設置、総合開会式及び競技会場での啓発ブースの設置）	①うっかりドーピングに対する意識の高揚とドーピング防止に関する知識・技能の習得。 ②③ドーピングに関する教育を行うことにより、ドーピングのない社会を目指す。	①岩手県内地域薬剤師会 ②岩手県体育協会、岩手県スポーツ健康課 ③県及び市町村、岩手県体育協会、医師会、歯科医師会	主催	一部継続
NPO法人日本健康運動指導士会岩手県支部	23						⑥							⑬	⑭	⑮	平成２８年度更新必修講座	⑱･⑲･⑳	①最新の健康づくり施策と健康運動指導士への期待 ②認知症、認知機能低下予防と身体活動の関係	平成２８年度	健康運動指導士･健康運動実践指導者	健康運動指導士の役割変化（１１０名）	中高年齢者への対応に変化が認められた	（公財）健康･体力づくり事業財団	主催	無
一般財団法人岩手県老人クラブ連合会	24						⑥							⑬	⑭		長寿・健康増進事業	19, 39 41, 42	県内の高齢者（老人クラブ会員が大部分を占めている）を対象に、ウォーキングやグラウンドゴルフなど、高齢者が参加しやすい軽スポーツに取り組み、健康増進や介護予防に取り組んでいる。	平成25年度～毎年実施	高齢者及び後期高齢者	平成28年度実績 69回・6, 781人	多くの高齢者が参加することによって、仲間づくりが広がり高齢者の孤立防止にもつながっている。	岩手県後期高齢者広域連合及び各市町村老人クラブ連合会	主催	継続
一般財団法人岩手県老人クラブ連合会	25													⑬			健康づくり推進員フォローアップ講座	39	健康づくり推進員が自らの地域で健康づくりの企画・運営に携われる組織として構築することを目的とする。	9月30日	健康づくり推進員養成講座修了者	平成25年～27年 養成講座修了者 17人	推進員の組織化を図り、広域的な健康づくりのための仕組みを構築するなど健康寿命をのばすための取り組みを展開する。	各市町村老人クラブ連合会	主催	継続 （内容については 変更）
（一社）岩手県歯科医師会	26										⑩						第１１回「8020健康フェスタ」	30、31、32、33	特別講演･健康講座･展示･スタンプラリー･体験学習コーナー等	6月5日	県民	参加者482名		盛岡市歯科医師会	共催	継続
（一社）岩手県歯科医師会	27										⑩						岩手県いい歯の日のつどいin宮古	30、31、32、33	基調講演･シンポジウム 展示･指導、相談コーナー	11月3日	県民	参加者172名		岩手県宮古歯科医師会	主催	継続
（一社）岩手県歯科医師会	28										⑩						第18回岩手県歯科保健大会	30、31、32、33	各種表彰･講演･展示	12月18日	県民	参加者323名		岩手県岩手県教育委員会	主催	継続
（一社）岩手県歯科医師会	29										⑩						イー歯トーブ8020コンクール表彰	32	応募者を8020認定者として表彰状または認定証を贈呈。 うち１０名程度を優秀賞とする。	6～9月	80歳以上の方	表彰者1,741名			主催	継続
（一社）岩手県歯科医師会	30										⑩						岩手県学校歯科保健優良校表彰	30	模範とするに足る成果を挙げた学校の表彰を行い、基本的生活習慣の形成や心の健康づくり等を目指した健康観の育成を資することを目的。	6月	小･中･高･特支	応募数184校 表彰校149校		岩手県教育員会	主催	継続

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
（一社）岩手県歯科医師会	31										⑩						歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール	30	歯科保健思想の普及向上、身の回りからテーマをとらえ表現することで、歯科保健の重要性を認識させる	5～8月	幼・保・小・中・高・特支	応募数107点		岩手県教育委員会 岩手県 岩手県国公立幼稚園・こども園協議会 県私立幼稚園連合会 日本保育協会岩手県支部	共催 後援	継続
（一社）岩手県歯科医師会	32										⑩						イー歯トーブ未来の8020表彰	30	歯科保健指導、う蝕の早期処置勧奨。よい歯の保育所・幼稚園を表彰	6～8月	保育所（園） 幼稚園	応募数56施設		岩手県 県歯科衛生士会・県国公立幼稚園協議会・県私立幼稚園連合会・日本保育協会岩手県支部	後援	継続
（一社）岩手県歯科医師会	33										⑩						体験学習・親子で遊ぼう！口の中は小さな宇宙	30	歯科保健医療にふれあいながら学び、関心や意識、行動の向上を図る。	7～8月 12～2月	小学校 子ども会等	体験　夏休み17名、冬休み62名 出前　夏休み59名、冬休み60名				継続
（一社）岩手県歯科医師会	34										⑩						被災地口腔ケア推進事業	30、31、32、33	被災住民の歯・口腔の健康の維持増進	7～3月	釜石・気仙地区	162応急仮設団地　509名		岩手県	委託	継続
（一社）岩手県歯科医師会	35										⑩						障がい児・者及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業	32、33	障がい児・者施設、高齢者施設入所者に対する歯科健診、口腔ケア 施設職員等に対する研修、実地指導	1～3月	県内施設	障がい者施設　18施設400名 高齢者施設　10施設　207名 研修・実地指導　11施設　228名		岩手県	委託	継続
（一社）岩手県歯科医師会	36										⑩						岩手県後期高齢者医療広域連合会歯科健診事業	32、33	H27.4.1～H28.3.31までに75歳の誕生日を迎えた方を対象とした歯科健診の実施	6～3月	県民	受診者1,492名		各市町村	委託	継続
（一社）岩手県歯科医師会	37										⑩						協会けんぽ歯科健診事業	31、33	協会けんぽ加入者に対し、う蝕等の早期発見・治療を推進	6～2月	協会けんぽ加入事業所	10事業所92名		全国健康保険協会	委託	継続
岩手県国民健康保険団体連合会	38		②	③		⑤	⑥								⑭		第2次健康ステップアップ運動 （生活習慣病予防の推進）	3,4,5,6,7,8,13,18,19,20,31,32,33,43,45	1　生活習慣病予防の推進 （1）特定健診・特定保健指導事業への支援 （2）市町村健康づくり講座等支援 （3）岩手県脳卒中予防県民大会等への参画	10か年 （平成20～29年度）	県内市町村	（1）1市　およそ1000人に受診勧奨 （2）1町　参加者25人 （3）健康機材による健康チェックを実施　参加者116名	－	岩手県在宅保健活動者連絡協議会	主催	継続
岩手県国民健康保険団体連合会			②	③			⑥								⑭		第2次健康ステップアップ運動 （ウォーキング等運動の推進）	3,4,5,6,7,8,13,18,19,20,42,43,45	身体活動に係る研修会への支援 ・保健推進委員等住民組織のウォーキング等活動への支援	10か年 （平成20～29年度）	県内市町村	1市へ講師派遣を予定していたが台風10号で前日中止	－	岩手県ウオーキング協会	主催	継続

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
岩手県国民健康保険団体連合会											⑩						第2次健康ステップアップ運動（歯科保健の推進）	31,32,33,42,43,45	成人の歯周病予防と咀嚼の必要性の普及啓発 ・保健推進委員等普及活動の支援 ・国保診療施設等関係機関との連携	10か年（平成20～29年度）	県内市町村	・チラシの配布　3町村（2000枚） ・健康まつりにおける歯周病予防の健康教育　1町　参加者160名	－	岩手県在宅保健活動者連絡協議会	主催	継続
岩手県国民健康保険団体連合会			②	③		⑤	⑥								⑭		第2次健康ステップアップ運動 体制整備等（保健活動用教材・機材の活用促進等）	3,4,5,6,7,8,9,10,13,18,19,20,42,43,45	(1)保険者が実施するデータヘルス計画等との連携 (2)岩手県保健推進委員等代表者協議会活動との連携 (3)岩手県在宅保健活動者連絡協議会活動との連携 (4)保健活動用教材・機材の整備充実と活用促進	10か年（平成20～29年度）	県内市町村	(1)9保険者へ国保保険者における保健事業に対して助言 (2)(3)岩手県保健推進委員等代表者協議会や岩手県在宅保健活動者連絡協議会の事務局を担い、研修会等を開催。 (4)延べ65市町村へ機材の貸し出し	－	岩手県保健推進委員等代表者協議会 岩手県在宅保健活動者連絡協議会	主催	継続
岩手大学 保健管理センター	39	①	②		④					⑨	⑩						禁煙支援・推進	1、3,4,6、8,11,12、26,27,29、31	1）禁煙を希望する学生、教職員に対して禁煙治療（ﾆｺﾁﾝ補充療法）・支援を無料で実施している。処方としてはニコチンパッチ、ガム使用。このほかに呼気中一酸化炭素濃度測定や掲示板やメーリングリストを使った支援を実施。 2）健康診断面接時に禁煙支援をPR。 世界禁煙デーにピアサポーターの学生とともにタバコの害等の情報提供のキャンペーンを実施。 3）安全衛生管理室と連携し、門外周辺の環境整備、小学生の通学時間帯（15:00～17:00）の路上喫煙禁止等の実施。	1)2)H15～ 3)H26.4.1～	職員・学生	1）＜現在の支援者数＞ ・H28年度新規登録者8名 （学生7名、職員1名） 2）＜喫煙率＞ 学生：男4.6%、女0.6%　全3.0% ＊未成年者喫煙率 男0.%、女0%、全0% 職員：男14.7%、女2.1%、全9.8% 3）毎日 ＊パトロールは平日毎日（安全衛生管理室中心）	1）2）喫煙率はH15～年々減少続けているため、支援者もそれに伴い減少してきている。しかし喫煙率はここ数年は横ばい状態となっている。アンケート等でみると、3年生から喫煙率は高くなる傾向がある。 職員は女性の非常勤職員の喫煙者の増加があり、職員への積極的な禁煙支援PRが必要と考える。 3）近隣からの苦情が減少している。		主催	継続
岩手大学 保健管理センター	40						⑥							⑬			健康クラブ（太極拳）	18,19,39	毎週1回保健管理センター長の指導で実施している。	H12～29.3	職員・学生・地域住民	開催回数：36回 参加者：263人（延べ人数）	職員、地域住民は健康づくりとして参加。学生は激しい運動が不可で体育の単位として参加する者が多い。世代間交流ともなり、1回あたりの参加者は横ばいである。		主催	継続なし
岩手大学 保健管理センター	41		②	③		⑤			⑧								適正飲酒の推進	3,4,5,6,8,13,14,23,24	＜学生＞ 1）入学時に適正飲酒に関するリーフレットを各自に配付している。 2）希望者に対して随時アルコールパッチテストを実施し、判定と共にリーフレットを配付し説明を行っている。（4月の1年生の授業の中でPR） 3）4月の1年生の授業中で、適正飲酒、ｱﾙﾊﾗ等に関する講義を実施。 4)学寮での新人歓迎会行事にて巡回指導。 ＜職員＞ 1）定期健康診断後事後指導において、必要に応じて生活指導の実施。	H14～	学生	＜学生＞ 1）実施者1700人 2）実施者数：約300人 3）実施者：1300人 4）実施者数：約300人 ＜職員＞ 1）肝機能B、Cへのリーフレット配布。面接指導実施	＜学生＞ 1）～3）については例年とおり実施。4）については学生支援課が実施。今年度も学寮での飲酒トラブルはほとんどなかった。 ＜職員＞ 1）例年通り実施。		主催	継続
岩手大学 保健管理センター	42					⑤											学生の正しい食生活推進	13,14,37、38	大学生活でひとり暮らしを始める学生が多いことから、健康診断面接時に、食生活等の確認と正しい食事の取り方に関する情報提供（リーフレット配付）を実施している。	H17～	学生（主に1年生）	実施者数：約1300人			主催	継続

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
岩手大学 保健管理センター	43	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫			⑮	健康相談	1,2,3,4,5,6,8,9,10,11,12、13,14,18,19,21,22,23,24,26,27,29,31,34,35,36,37,38,49	学生および教職員の心身の健康を保ち、有意義な学生生活をおくれるようにサポートするため、保健管理センターにおいて、医師、看護スタッフによる健康相談を実施している。週5日間9:00～17:00	毎年実施	学生・職員	実施者数（延べ）： 学生　約6500人 教職員　約800人			主催	継続
岩手大学 保健管理センター	44							⑦				⑪				⑮	学生相談室	21,22,34,35,36,49	学生および教職員の心の健康を保ち、有意義な学生生活をおくれるようにサポートするため、カウンセラーによる個別相談を実施している。週5日間9:00～17:00	毎年実施	学生（必要に応じて職員も対象としている）	相談者数　延べ約2200人	年々増加傾向にある。		主催	H27.7～常勤カウンセラー2名から1名（1名兼任となった）になったため、非常勤カウンセラー週2回午後4時間だったが、週4回午後4時間配置とした。
岩手大学 保健管理センター	45							⑦				⑪					心の健康づくり（職員）	3435,36	安全衛生管理室において、「岩手大学における心の健康づくり計画（H23～27）にもとづき、研修や疲労度調査を実施した。またH28年度からストレスチェック実施（大学独自に学内ネットによる入力集計のプログラムを作成）。	H23～	職員	1）相談体制の周知 リーフレット作成・配布 2）教育・研修の実施 2回実施：37名 3）ストレスチェックの実施 全ての教職員対象に手軽にセルフチェックできるように、Webを活用したシステムを独自に作った。			主催	H28～第3期中期計画が開始となった。 5か年（H28～32）
岩手大学 保健管理センター							⑥										岩手大学スポーツユニオン（通称：がんちゃんスポーツユニオン）	18,19,20,37,46	スポーツ・健康分野の研究成果を集約し、健康増進等に関する諸事業を展開することを目的に、健康増進等に関する共同研究、受託研究の実施 や、健康増進等に関する自主・支援事業の実施。	H18～	県民一般、学生	・子供達の身体づくり（スーパーキッズ）巡回指導の実施。 ・地域の健康増進クラブの育成協力。 ・被災地スポーツコーディネーターの育成（H23～）	岩手大学のスポーツ・健康に関する研究成果を集約させ、各地域と連携して健康増進施策等を推進することを目的として、平成18年6月に設立		主催	継続
（公社）岩手県看護協会	46											⑪				⑮	こころの健康	34. 35.36.	こころのケア研修 研修会の実施 ストレスとメンタルヘルスケア	平成23年～毎年	看護職410 名	岩手県看護協会10支部開催 各施設から参加	職場のメンタルヘルスケア や受診者の心の変化に 気づくことができる		主催	継続
（公社）岩手県看護協会	47	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		⑫	⑬			看護の日健康フエア	1. 4. 5. 6. 8. 9. 10. 13. 14. 15. 18. 19. 21. 23. 25. 26. 28. 30. 31. 32. 39	健康フエア	平成3年～毎年度　1回	県民　374名	相談(健康・介護・栄養等)・健康チエッ(骨密度・血管年齢・体脂肪等)　・乳がん触診体験・口の元気度検査 ハンドケア・フットケア等	リピーターが増え1年に一回の自分の健康管理を確認する機会ととらえている県民が増加	助産師会・栄養士会・歯科衛生士会・いわてピンクリボン	委託	継続
（公社）岩手県看護協会	48	①	②	③		⑤	⑥			⑨				⑬			看護の日健康フエア	1. 4. 5. 6. 9. 10. 13. 14. 15. 18. 19. 39	健康フエア	平成14年度～ 毎年度　1回	県民　623名	相談(健康・介護等)　健康チエック(骨密度・血管年齢・体脂肪測定等)			看護協会10支部で開催	継続
（公社）岩手県看護協会	49	①	②	③		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑪		⑬		⑮	まちの保健室	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 13. 14. 15. 18. 19. 21. 23. 26. 35. 39. 45. 46. 49	住民への健康支援	平成15年～1～2回/週開催場所により異なる	住民　1039名	健康相談・子育支援・思春期相談　血圧測定等	リピーターが増え自分や家族の健康管理について相談する県民が増加	盛岡市杜陵老人福祉センター・盛岡市復興支援センター・ななっく・ゆぴあす・イオンモール南	看護協会5か所で開催（盛岡市5か所）	継続

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
(公社)岩手県看護協会	50		②	③		⑤			⑧	⑨		⑪					いいお産の日	4. 9. 13. 14. 21. 25. 28. 35	妊産婦及び子育て支援	平成11年～毎年度 1回	県民 102名	展示：助産師の仕事他 体験：胎児心音、育児用品他 相談：母乳育児、歯科、栄養、孫育て	参加者数が増加傾向、夫婦での参加も見られる	岩手県助産師会	共催	継続
(公社)岩手県看護協会								⑦									看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)ワークショップ	21.22	看護職の働き続けられる職場づくりへの支援	平成25年～毎年度1回	医療職82名	・取組病院毎現状分析(インックス調査) ・講演・インデックス調査データの読み見方・WLB推進のためのアクションプラン・労働法規等 ・個別ワーク	年度計画を立案し取り組むので勤務環境改善につながり、保健所の立ち入り検査等で評価を得ている	岩手県	共催	継続
(公社)岩手県看護協会		①	②							⑨							喫煙防止対策	26. 27. 28.29	喫煙防止と禁煙対策 受動喫煙防止対策	毎年実施	県民 医療関係者	看護職員等学校養成所における禁煙対策・禁煙指導の動向調査 受動喫煙防止対策の法制化への請願		日本看護協会 岩手県看護連盟	連携	継続
(公社)岩手県看護協会	51	①															乳がんの早期発見啓発活動	1.2	乳がん検診啓発活動	平成21年～毎年度	県民	ピンクリボンフェスタ及びデパート等での啓発活動		いわてピンクリボン	共催	継続
(公社)岩手県看護協会	52														⑭		認知症対応	42.43. 44.45	研修会の実施 1. 認知症ケアの理解関連 2. 認知症対応力向上 3. 認知症サポーター養成	平成25年度～ 毎年 複数回		1. 実施回数4回 2. 実施回数4回 3 養成講座1回	1. 883名 2 262名 3 132名	1. 日本看護協会 2. 岩手県 3. いきいき岩手支援財	主催 共催 共催	継続
岩手産業保健総合支援センター	53		②														脳卒中予防研修会	3	研修会の開催	毎年実施	事業場保健スタッフ等	1回13名			主催	有
岩手産業保健総合支援センター	54							⑦									過重労働対策研修	22	研修会の開催	毎年実施	同上	3回99名		岩手県医師会	主催	有
岩手産業保健総合支援センター	55									⑨							受動喫煙対策研修	29	研修会の開催	毎年実施		1回17人			主催	有
岩手産業保健総合支援センター											⑩						口腔健康対策研修会	31	研修会の開催	毎年実施		1回6名			主催	有
岩手産業保健総合支援センター												⑪					自殺予防研修会	34	研修会の開催	毎年実施	事業場保健スタッフ等	1回26名		岩手県	主催	無
岩手産業保健総合支援センター	56											⑪					メンタルヘルス等研修会	36	研修会の開催	毎年実施	同上	55回2088名		岩手県医師会、業界団体	主催	有

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
全国健康保険協会岩手支部	57										⑩						歯科健診	31,33	歯周病とう蝕の早期発見・早期治療に着目し、歯・歯肉の検査、咬合力検査、歯科健康指導等を実施	平成26年度～	被保険者	実施者数92人	歯周病とう蝕の早期発見・早期治療	岩手県歯科医師会	委託	継続
全国健康保険協会岩手支部	58														⑭		運輸業と連携した健康意識醸成のための広報	44	業種別健診結果分析より健康度の低い運輸業に対し働きかけ、当該業種の事業所に勤める職員の健康づくり意識の向上を図ることを目的に実施	平成26年度～	運輸業の加入事業所の従業員	概ね4半期ごとに、岩手県トラック協会、岩手県タクシー協会等を通じてそれぞれの加入事業所へ健康啓発記事を掲載した「協会けんぽ岩手支部NEWS」を配布	運輸業の事業所の従業員の健康づくり意識の向上	岩手県トラック協会、岩手県タクシー協会等	共催	終了
全国健康保険協会岩手支部	59														⑭		いわて健康経営宣言事業	44	岩手県、経済団体、企業等と連携して加入事業所に対し健康経営の取組を進めることにより、県民および加入者の脳卒中死亡率ワースト1からの脱却を目的に実施	平成27年度～	加入事業所	宣言事業所数 375事業所（平成28年度末）	職場の健康づくり意識の向上	岩手県、経済団体、企業等	主催	継続
全国健康保険協会岩手支部	60														⑭		いわて健康経営アワード	44	事業所における健康づくりの取組を募集し、優れた取り組みについて表彰するとともに、岩手日報紙面上でその内容を紹介することにより、健康経営の普及および優れた取り組みの横展開を図るため実施	平成28年度～	加入事業所	応募事業所数25事業所 表彰事業所数… 最優秀賞1、優秀賞2、特別賞4	健康経営の普及および優れた健康づくりの取組の波及	岩手日報社、岩手県、経済団体、企業等	主催	継続
全国健康保険協会岩手支部	61					⑤						⑪			⑭		健康づくりセミナーの開催	14,36,44	健康づくりの意識向上及び健康経営の普及を目的に開催 【演目】…タニタの健康セミナー、職場における生活習慣病予防対策、ストレスチェック制度について	平成26年度～（27年度は実施なし）	加入事業所の総務担当者等	参加者207名	健康づくりの取り組む事業所の増加、健康経営の重要性についての啓発	岩手産業保健総合支援センター、岩手県、経済団体、マスコミ各社等	主催	継続（内容は変更予定。詳細未定）
全国健康保険協会岩手支部	62						⑥										健康川柳コンクール	18,19	岩手日報主催「いわて健康ウォーク」の開催に合わせて健康に関する川柳を募集し、優秀な作品を表彰するコンクール事業を実施	平成27年度～	県民および加入者	応募総数：261句 （うち表彰6句）	健康づくり意識の向上	岩手日報社等	主催	継続
全国健康保険協会岩手支部	63	①	②	③													生活習慣病予防健診	1～8	生活習慣病の予防・がんの早期発見に着目し、胸部・胃部X線検査、血液検査、便潜血検査等人間ドッグに準ずる全体的な健診を実施。	平成20年～	主に35歳以上の被保険者	実施者数（見込） 71,307人（47.3%）	生活習慣病の予防・早期発見、がんの早期発見	健診実施機関	主催	継続
全国健康保険協会岩手支部	64		②	③													特定健康診査	3～8	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診を実施	平成20年～	40歳以上の被扶養者	実施者数（見込） 12,183人（25.8%）	メタボリックシンドロームの予防	健診実施機関	主催	継続
全国健康保険協会岩手支部	65	①	②	③													特定保健指導	1～8	生活習慣病予防健診・特定健康診査等の結果に基づき、メタボリックシンドロームのリスク数に応じて、生活習慣改善が必要な方に保健指導を実施	平成20年～	40歳以上の加入者	実施者数（見込） 被保険者2,372人（9.2%） 被扶養者10人（1.0%）	メタボリックシンドロームの予防・改善	健診実施機関・特定保健指導専門機関	主催・委託	継続
全国健康保険協会岩手支部	66					⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑪			⑭		業種業態の特性に合わせた職場の健康づくり支援	13.14.18.19.21.23.26.27.35.36.44	業種業態の特性に合わせた健康づくりメニューを提案し、ポピュレーションアプローチを行うことにより、職場の健康づくり意識の醸成を図ることを目的に実施。	平成26年～	加入事業所の従業員等	12事業所（1,568人）	職場の健康づくり意識の向上・生活習慣（食生活等）の改善・職場のメンタルヘルスケアの充実	早稲田大学	主催	継続
全国健康保険協会岩手支部			②	③													未治療者（血圧・血糖）に対する受診勧奨	4.9.10	生活習慣病予防健診結果で血圧・血糖が要治療と判定されながら医療機関に受診していないものに対して文書等で受診勧奨を実施。	平成25年～	35歳以上（H28.10月までは40歳以上）の被保険者	平成27年度通知件数 2890人（4.2%）	生活習慣病（高血圧症・糖尿病等）の重症化防止		主催	継続

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
全国健康保険協会岩手支部				③													糖尿病性腎症の重症化予防	9.10	糖尿病性腎症が疑われる人工透析導入前段階の者に対し、医療機関（盛岡市医師会）と連携し生活改善指導を実施。	平成28年度～	35歳以上の被保険者	通知数　10人 国の糖尿病性腎症重症化予防事業基準該当者	人工透析への移行防止	盛岡市医師会	主催	継続
岩手日報社	67	①	②	③		⑤	⑥					⑪					生活習慣病予防健診 定期健診	1～9	生活習慣病の予防、早期発見に着目し、胸や胃のレントゲン検査など全般的な検査を実施	平成20年～毎年度	全従業員	毎年度320～330人 受診率100%	生活習慣病の予防 早期発見、改善 メンタルヘルス対策	健診実施機関	委託	継続
岩手日報社	68						⑥										踏み出そう健康への歩！	18	上り2階、下り3階までは、階段を利用し、無理のない運動で生活習慣病を予防	毎日	全従業員	社内にポスターを掲示し、全従業員の運動機会の増加を図る	誰でも気軽に体を動かして、生活習慣病を予防	なし	県立大学看護学部	継続
岩手日報社	69								⑧								肝臓だって休みたい週1日は休肝日	23	お酒を飲む日を減らし、社員の飲酒量を抑え、様々な病気の発生リスクの低減	毎日	全従業員	社員の見えるところに休肝日のポスターを貼り、飲酒量を減らす	肝臓などの疾患を予防し、アルコール依存を防ぐ	なし	県立大学看護学部	継続
岩手日報社	70														⑭		会社ぐるみでインフル予防	44、45	職場でインフルエンザ予防接種を従業員の希望者全員に、費用全額負担で実施	平成27年～毎年度	従業員の希望者全員	接種率は約70% 毎年度、約190人が接種している	インフルエンザ罹患者数は、毎年10人前後 実施前と比べ約20人減った	産業医	委託	継続
岩手日報社	71		②												⑭		岩手県民健康応援キャンペーン	3、4、5、6、44	脳卒中予防の啓発 健康経営の実践	平成29年4月～10月	県民	健康フォーラムの実施 健康経営セミナーの開催	脳卒中予防の県民意識の拡大	県、協会けんぽ、商工会議所など	主催	継続
岩手日報社	72						⑥						⑫		⑭		いわて健康ウォーク	18、19、20、37、43、44、45	家族ぐるみで参加できる健康ウォークの実施	毎年10月	6～9km歩く方どなたでも	岩山散策コースや北上川河川敷コースで約8km 晴天時は約700人参加		ユニバース、JA、全農いわて、IBC、花王ヘルシア、協会けんぽ	主催 岩手県、盛岡市、岩手日報社	継続
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	73		②														「適塩習慣定着促進事業　～突撃！隣のおみそ汁～」	3・4・13・14	家庭訪問・料理講習会等によるみそ汁の塩分濃度測定及び適塩習慣の啓発	H28.8～H29.2	県民	実施回数　4,135回 対象者　　7,863人	家庭の食事の塩分濃度を測定することで、適塩・減塩に対する意識づけに繋がった。	市町村	主催	平成26年度から3年間の継続事業。平成28年3月末にて事業は完了した。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	74					⑤											生涯骨太クッキング事業	13・14	「カルシウム不足」の改善を行い規則正しい食習慣を身につける事を目的とした講習会の開催	H28.7～H29.3	地域の住民（成人から高齢者）	開催回数　27回 参加者数　545名	調理実習でカルシウム摂取とVD摂取の必要性について参加者の意識が高まった。	市町村	委託事業	継続予定あり。詳細は未定。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	75												⑫				おやこの食育教室	5・12・14・15	こどもの時から正しい食習慣を身につける事と親に共食の大切さを感じ取ってもらう事を目的とした料理講習会の開催と幼少期からの減塩指導	H28.7～H29.3	年長児及び小学生の親子	開催回数　27回 参加者数　636名	保護者の多くが、共食の意味や食事バランスの大切さについて意識が高まった。	市町村 保育園	委託事業	継続予定あり。詳細は未定。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	76		②														男性のための料理教室	5・6・8・13・14	団塊世代への自立支援や、30歳代からの生活習慣病予防をテーマに生涯食育をテーマにした講習会の開催	H28.7～H29.3	30歳以上の男性・高齢者を対象	開催回数　5回 参加者数　81名	健康や食生活の自立の大切さについて、男性参加者の意識が高まった。	市町村	委託事業	継続予定あり。詳細は未定。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	77													⑬			シルバー・認知症予防教室	2・3・5・6・13	高齢者の低栄養状態回避と運動機能障害防止のため、栄養教室及び運動習慣普及の講習会の開催	H28.7～H29.3	成人・高齢者	開催回数　8回 参加者数　122名	参加者の多くが、ロコモティブシンドローム予防の大切さを実感できた。	市町村	委託事業	引継ぐ形で名称を変更し、継続予定あり。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	78														⑭		生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業（新規）	2・3・5・12・13	若者・働き世代にまで対象者を拡大し、家庭訪問やイベントによる減塩活動、料理講習会開催	H28.11～H29.2	高校生から60歳後半以上を対象	開催回数　29回 参加者数　592名	家庭訪問で地域でお互い支え合う基盤ができ、幅広い年代層に減塩に対する意識が広まった。	市町村	委託事業	継続予定あり。詳細は未定。

関係機関・団体名	No.	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考（※主催・共催・委託等の別）	平成28年度事業予定（継続の有無）（変更点）
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15						事業実施量（アウトプット）（例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム）（例）実施前後の変化など			
(一社)岩手県医師会	79	①	②	③				⑦					⑫	⑬			健康教育広報 ラジオ番組「健康で長生きするために」	1，2，4，8，9，10，21，37，38，39	県民の健康向上への貢献を目的に、月別のテーマで内科、外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、精神科の専門医とアナウンサーとの対談形式で放送。	昭和57年～毎年実施	県民	毎週日曜日	県民の健康保持・増進に努めることができた。	各診療科医会	主催	継続
(一社)岩手県医師会	80	①	②				⑥	⑦									健康教育広報 新聞掲載「お元気ですか」	1，2，4，18，21	県民の健康向上への貢献を目的に、新聞に健康情報を月別テーマで掲載。	平成12年～毎年実施	県民	毎月、最終火曜日	県民の健康保持・増進に努めることができた。		主催	継続
(一社)岩手県医師会	81			③													糖尿病疾病管理強化対策事業	8，9，10	県内3地域における郡市医師会を調整し、医師、療養指導従事者への説明会及び情報交換会を開催する。	平成24年～毎年実施	県内の医師、療養指導従事者等	年3地域	医師と療養指導者等の糖尿病重症化予防等についての理解と連携が深められた。	郡市医師会	県委託事業	継続
(一社)岩手県医師会	82			③													世界糖尿病デー 市民公開講座	8，9，10	急増している糖尿病の対策に取り組むため、開催団体と連携し、県民一般に糖尿病についての啓発活動を行う。 〇糖尿病に対する運動療法～室内でできる運動について 〇糖尿病予防・運動と治療	平成18年～毎年実施	県民 100名	年1回	関係団体との連携を深め、県民の健康保持・増進に努めることができた。	・岩手県医師会糖尿病対策協議会 ・郡市医師会 ・日本糖尿病学会岩手県支部 ・日本糖尿病協会岩手県支部 ・岩手県歯科医師会 ・岩手医科大学糖尿病代謝内科 ・岩手県 ・市町村	共催	継続
(一社)岩手県医師会	83									⑨							医療機関における禁煙の推進	29	医療機関における禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発	平成17年～毎年実施	県内の医療機関	随時	県内の医療機関における全面禁煙	県内全医療機関	主催	継続
(一社)岩手県医師会	84												⑫				岩手県学校保健・学校医大会	37	学校保健活動に関する新しい情報を取り入れ地域学校医のさらなる資質向上を図り、児童・生徒の健康保持増進に努める。 〇一般演題：10題 〇特別講演1：学校における色覚の対応について 〇特別講演2：学校における食物アレルギー対応	昭和59年～毎年実施	学校保健関係者 学校医　等 229名	年1回	学校保健関係団体との連携を深め、児童・生徒の県子保持・増進に努めることができた。	・岩手県教育委員会 ・岩手県学校保健会 ・岩手県予防医学協会	主催	継続
(一社)岩手県医師会	85												⑫				いわて健康塾	37	県民の健康向上への貢献を目的に、いろいろな分野の医師から講話を提供。 〇第1回：聞き間違いは要注意～難聴と認知症～ 〇第2回：子どもが子どもを生きること～愛着と遊びの力～	平成21年～毎年実施	県民 150名	年2回	関係団体との連携を深め、県民の健康保持・増進に努めることができた。	・テレビ岩手 ・岩手読売会 ・読売新聞盛岡支局	共催	継続
(一社)岩手県医師会	86														⑭		「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業（第2弾）	3・4・42・43	家庭訪問やイベントによる減塩活動、減塩リーダー養成のための講習会開催	H27.7～H28.3	40歳代から70歳代の男女	開催回数　25回 参加者数　2,088名	家庭訪問で地域でお互い支え合う基盤ができた。	市町村	委託事業	未定。